

6月定例会 勝川議員の 一般質問



勝川議員の質問

一般質問の

録画が

見られます

市の回答



誰もが気軽に利用できる屋内遊び場「みろっこ」に

たまり～な内屋内遊び場みろっこは、市民の利用料金が1歳以上全て400円。高すぎると利用料金見直しを求める声が上がっている。子育て世代に選ばれる町をめざすのであれば、早急に料金設定を見直すべきではないか。

・この施設は利用する方もいるし、全く利用しない方もいる。利用料金の負担だけ取って、掛川市の子育て施策は遅れていると言われるのは心外。(市長)
・維持管理費や運営費などを考慮して、適切な料金設定を設定している。オープン後の利用状況や運営状況、利用者アンケートの結果を踏まえ、必要に応じて料金の見直しを検討する。

保育士など子育てのプロの配置で安心安全で楽しい公園に。

環境を整えるため、子育て支援員の配置などは指定管理者と協議を進める。



実際にこの料金だと気軽に利用できないという声が多いことをしっかり受けとめて、減免などを検討し、子育て支援をきちんと行なっていただきたい。

市民ともにごみの減量化を推進しよう

ごみの全量外部搬出の開始、おむつリサイクル・ごみ減量推進会議の提言を受けての状況、「掛川市もったいないを合い言葉にカーボンニュートラルを推進する条例」制定後の取組みなど、ゼロ・ウェイスト(ごみを出さない社会をめざす)がどう進められているのか、今後の見通しは。

外部搬出の費用は計画の55,000円より安く28,000円～53,000円/t。故障でピットにたまったごみ処理が終わり、外部搬出量も月2500トンと減少。ごみの量が減れば、当然ごみの処理費用削減に直結する。おむつの固形燃料化、製品プラスチックの回収の実証実験はステージを上げて研究していく。

ごみがどこに運ばれてどう処理されているのかを市民に知ってもらい、正しい分別と減量化の推進を。市民団体とも協力して、研修制度をつくって講師認定するとか、広範な学びの場を。

知らせる、学ぶ啓発活動を市民団体などの協力もいただいて推進していく。

ごみ処理計画の10年後の減量化目標1人570g達成を、5年後の新廃棄物処理施設の稼働までに。

今回初めて1人あたりの燃えるごみの排出量は595gと600gを切った。ゼロ・ウェイストを掲げ減量に取り組む。570gは高い目標であり、5年後の前倒し達成は考えていない。



もっともっとごみは減らし、ごみを燃やさないゼロ・ウェイストをめざすことで、気候危機にも対応でき、ごみ処理費用も減らせる。前向きで意欲的な取り組みを期待します。

勝川議員の今期の所属

総務委員会・予算決算委員会・
広報広聴特別委員会・東遠地区
聖苑組合議員

市議選を経て、自民党・公明党で
つくる最大会派創世会が13人/21人
と安定多数の市議会となりました。

日本共産党は一人となり、残念な
がら議会運営委員会からも外れ、
中東遠医療センターや環境資源ギ
ャラリーなど予算規模の大きい広域
議会メンバーからも外れました。

対して自民党会派議員が増え、
多様な意見反映が難しくなります。
1人でもやれる限りの活動を議会内
外でしていきます。

2024年度政務活動費報告

会派名 日本共産党議員団		
1 収入	720,000 円	(2024年4月1日～2025年3月31日)
政務活動費過剰利息	372 円	
2 支出		
科目	金額	備考
調査研究費	0	
研修費	130,960	研修会1回、オンライン研修会3回
広報費	345,513	「共産党市議会だより」4回発行
広聴費	0	
要請陳情活動費	0	
会議費	0	
資料作成費	38,984	決算書、予算書、各2冊
資料購入費	22,233	書籍(12冊)購入
人件費	0	
事務所費	16,203	会派室インターネット回線使用料
合計	553,893	
3 残額	166,107 円	
政務活動費過剰利息	372 円	
	166,479 円	

市議会報告を発行し市民にお届
けする他、政策提案に生かす研修
に参加しました。

今後の掛川市議会の予定

☆8月定例会(8月29日～9月30日)
9月8日(月)・9日(火)・10日(水)
の3日間一般質問が予定されてい
ます。

9月定例会は2024年度の決算
を審議する議会です。